



あおぞらルーム 令和7年10月1日

先日はお忙しい中、保護者会にご参加いただきありがとうございました。皆様からいただいた貴重なご意見は、今後の保育に生かしてまいります。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

朝晩がひんやりと涼しくなり、戸外で過ごしやすい季節になりました。お散歩で公園へ行くと、早くもたくさんのどんぐりが落ちています。子どもたちは夢中で拾い集め、以前は難しかったどんぐりをつまむ動きも、今では上手にできるようになりました。このような指先の発達を促す遊びを、園でも様々取り入れていますので、今月号では「指先を使った遊び」に焦点をあてご紹介します。

指先を使った遊び

生まれたばかりの頃は、手を握ったり広げたりすることから始まります。お座りができるようになると、手のひらで物をつかみ、今は3本の指で細かいものをつまむことができるようになりました。このように、指先の動きは段階的に発達していきます。

今は、この指先の基礎を育む大切な時期です。指先をたくさん使うことで脳に良い刺激が伝わり、将来の「鉛筆や箸の持ち方」にもつながっていきます。

園では、制作活動を通して「ちぎる」「丸める」「貼る」「描く」といった動きを取り入れたり、おもちゃの容器やパズルの袋の開け閉めなども、子どもたち自身で行うよう促しています。おもちゃを選ぶ際も、その子一人ひとりの発達段階に合わせて提供することを大切にしています。発達に合わない遊びでは、達成感を得られず楽しむことが難しいからです。他の子と比べて焦ったり、不安に思ったりする必要はありません。一人ひとりのペースに合わせた関わりが最も重要だと考えています。

指先を使った遊びのメリットは、主に以下の3点です。

脳の発達を促す→ 思考力や想像力が育ちます。

集中力が養われる→ 遊びに夢中になることで、集中する力が身につきます。

協応する力の獲得→ 目で見たとものと指先の動きを連動させる力が育ちます。

これからも、「指先を使った遊び」を楽しみながら成長できるよう、サポートしてまいります。

10月生まれのおともだち



お誕生日



おめでとう！！

